

たたかう労働組合・回転寿司ユニオンに総結集して、労使関係正常化闘争を完遂しよう！

労使関係の正常化をめざして

17

2026/4/13

編集・発行：回転寿司ユニオン

ユ・シ協定を誇示 未払い問題を契機とする集団移籍に戦々恐々？ はま寿司の企業内組合、ホームページの「委員長挨拶」を更新

はま寿司の企業内組合は7日、ホームページの「委員長挨拶」のページを大幅に更新した。

ここでは「従業員の皆さまが日常の中で抱える不安や「誰に言えばよいか分からない思い」に寄り添い、“声なき声を声にする”組合としての役割を大切にしています」など、聞こえのよいことを一丁前に書いているが、中でも特筆すべきは、ユニオンショップ協定を誇示している点だ。ここでは、「はま寿司従業員組合会は、会社とユニオンショップ協定を結んでいる労働組合です」と切り出したうえで「そのため、はま寿司に入社された皆さまは自動的にはま寿司従業員組合会の組合員となり、組合の各種活動や福利厚生制度、相談窓口をご利用いただけます」などと書いている。

いくらユ・シ協定を結んでいても、併存組合が存在しているのに一方組合に自動的に加入ということにはふつうはならないと思うが、ともかく突如「委員長挨拶」を更新してユ・シ協定を誇示しだしたところからは、回転寿司ユニオンへの恐怖感がみて取れる。

すなわち、回転寿司ユニオンはホームページ更新の5日前に、はま寿司での未払い賃金の一部支払いをマスコミに公表し、各社で報じられた。そのため、全国のクルーから、本件についての問い合わせが回転寿司ユニオンに殺到することは目にみえる話だが、これを契機としてさらに回転寿司ユニオンへの移籍加入が続くことが怖くてたまらないのだろう。

現に回転寿司ユニオンのもとには、「早出残業分も請求したいのですが」という問い合わせのほか、「これまで加入していたはま寿司ユニオン（企業内組合）は10年間も違法行為を黙認していたのか？」「強制的に組合費を取っておきながら、従業員への未払いを黙殺して時効を成立させるとは、はま寿司ユニオンは会社と組合員どちらの味方なんだ？」「組合員への背任だ！」という企業内組合への痛烈な怒りがさまざま寄せられている。企業内組合にも、会社と結託して違法行為を黙認して組合員の利益を損ねてきた自覚が確かにあるのだろう。

しかし、そのときにやるのが、過去を率直に自己批判して真に組合員の利益を代表する組合へと生まれ変わろうとするのではなく、ホームページをごちゃごちゃ更新してユ・シ協定によって会社に認められていることを誇示するだけというのでは、このような組織に未来も展望もあるまい。

この未払い問題の一件で、ますます企業内組合が組合員やはたらくものの利益を裏切り、反対に回転寿司ユニオンがはま寿司をはじめ回転寿司産業ではたらくすべてのなかまのみなさんの利益を代表する組合だということが一段とはっきりした。ぜひともみなさんの一刻も早い回転寿司ユニオンへの結集を、心からよびかける。

会社に認められていることが唯一のよりどころとは、これが養殖組合のみじめな姿だ！